



# 成人式

## 新たな門出を祝して

1月12日(日)文化会館で平成26年津島市成人式が開催され、晴れ着に身を包んだ新成人679人(男性343人、女性336人)が、新たな門出を祝いました。

式典では、伊藤市長から「社会の一員として自立し、自分の言動や選択に責任を持つて、これからの人生を歩んでください。」と式辞が贈られると、新成人代表からは、「回り道や寄り道をしながらも自分の意思で一步一步確実に歩いていきます。」と誓いの言葉が述べられました。

第2部の成人式実行委員企画では、シルエットクイズやビデオレターに中学時代の恩師が登場し、会場は大いに盛り上がりました。

式典終了後も、会場の外には、かつてのクラスメイトとの再会を喜び合い、思い出話を花を咲かせる新成人らの姿が見られました。





新成人と市長・教育長の懇談会

平成25年11月24日(日)、生涯学習センターで新成人と市長・教育長の懇談が行われました。

新成人を代表して、成人式実行委員会のメンバー8人に、「将来の夢・希望」「津島市への思い」などを語っていただきました。( )内は出身校



鈴木隆嗣さん  
(藤浪中)

20歳は、人生の転換期だと思います。  
将来は、留学をした経験を生かして、国際関係の仕事に就けたらと思っています。



石原奈々代さん  
(暁中)

現在、教員を目指し勉強しています。  
子どもたちに専門的なことを教えて、世界の担い手になれる子を育てていきたいと思っています。



猪飼泰秀さん  
(神守中)

人が集まる場所をもっと増やしてほしい。  
子どもに愛着心を持ってもらえるような環境づくりをすることで、若者離れを防げるのでは。



伊藤成汰郎さん  
(暁中)

遊ぶ施設があると、子どもたちも伸び伸びできる。  
子どもが遊んでいる姿を見ると和むので、安心して遊ばせられる場所があるといい。



伊藤市長

自分の得意なこと、好きなこと  
が職業になるのは非常にいいことです。  
若いうちは、いくらでも方向転換できるし、これから先もいろいろな機会がある。  
やりがい求めて仕事に就き、職業を通して社会に貢献していただきたい。



渡邊瑞稀さん  
(天王中)

大学では、保育の勉強をしています。  
先日、美習に行きました。学生とは違い、社会人になると、子どもを預かるといふ責任が、とても大きくなると感じました。



野口航希さん  
(天王中)

20歳になり、選挙権という形で間接的にでも日本の役に立てることを光栄に思っています。  
将来は、ものづくりの分野で直接的に役に立ちたい。



山地 優さん  
(神守中)

津島市には、文化も歴史もいっぱいある。  
それを全面にアピールすれば、市外、県外から多くの人に来てくれると思います。



武藤教育長

地域で集まるお祭りを大事にしてほしい。お祭りのときには、ぜひ戻ってきて地域の行事を盛り上げてください。  
また夢に向かって頑張っている子を地域全体で育てたい。ぜひ皆さんも、そのお手伝いをしてください。



梁川未依さん  
(藤浪中)

自分が母親なら、子どもを安心して遊ばせられる場所がほしい。  
近所との仲が良く、道を歩いていると声をかけ合えるような関係が築けたらいいと思います。